

災害時のトイレ考えて いますか？

災害後すぐに仮設トイレは設置されない

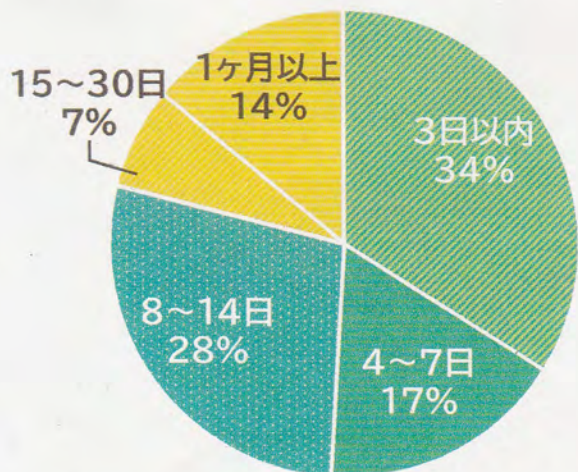
災害で水道管がこわれてしまうと、上下水道の復旧までトイレを使うことができません。避難所などにある仮設トイレは、すぐに十分な量が配備されるわけではないので、その間はトイレを我慢することになります。また、仮設トイレが設置されても、普段使うようなトイレ環境は期待できません。被災体験によると、「においがきつくて使えない」や「防犯面が心配」、「処理しきれなくて使えなくなった」といった声があります。そのた

めに、飲食や水分補給を控えることになると、体調を崩す恐れもでてきます。

災害時は家のトイレは流せない

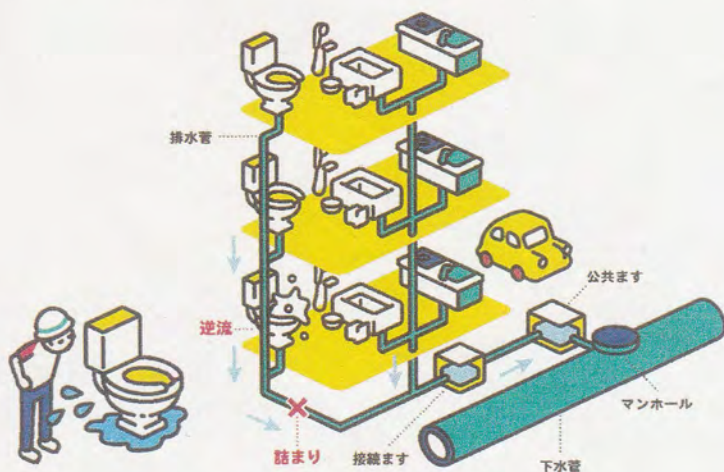
住宅にあるトイレや台所の流し、浴槽は、一本の排水管が下水道までつながっています。排水管が破損して詰まりができると1階などの下層階で汚水が逆流する恐れがあります。

排水管の損傷がないことを確認するまではトイレ等の水は流さないようにしましょう。



自治体が仮設トイレ配備にかかった日数

出典：「避難所等におけるトイレ対策の手引き」（兵庫県/H26）
調査：名古屋大学エコトピア科学研究所、協力：日本トイレ研究所



排水管等が損傷すると詰まって逆流する

出典：「防災マニュアルブック（家庭における災害時のトイレ対策編）」
（埼玉県/H28）

トイレ凝固剤(携帯トイレ)の活用しましょう

- ① 便器にポリ袋をかぶせた後にその上から携帯トイレ(便袋)を設置。

排泄後、携帯トイレだけを交換すれば、底面に水がつかず、おうちの床が濡れない。



- ② 用を足し、汚物を固める。

- ▶ 吸収シートタイプ: 凝固シートで固める。
- ▶ 粉末状・錠剤の凝固剤のタイプ: 用を足す前もしくは後に振りかける。

※トイレットペーパーもこの中へ



- ③ 携帯トイレだけ取り出し空気を抜いて口を強くしばる。

- ④ 密閉できる容器で収集まで保管する。

- ▶ ふた付きゴミバケツや汚物処理専用の保管袋などを使う。
- ▶ 使用済み便袋は、市町村のゴミ収集方法にしたがって処理する

※川崎市では普通ゴミとして収集されます。



出典改編：「防災マニュアルブック（家庭における災害時のトイレ対策編）」（埼玉県/H28）

トイレ凝固剤(簡易トイレ)を準備しましょう

凝固剤の準備する目安として、1人で1日5回使います。できれば14日間分、最低でも7日間分を用意した方がよいでしょう。また、上下水道が仮復旧するまでにかかる日数は平均で35日間とされています。仮設トイレの利用が難しい方や仮設トイレの場所まで遠い方は多めに用意しておきましょう。

家族人数		1日の回数		使う日数		準備する回数
<input type="text"/>	×	<input type="text" value="5"/>	×	<input type="text"/>	=	<input type="text"/>

**避難生活を少しでも快適に過ごすために、
平時のうちに準備しておきましょう！**